

# 視聴覚教育

No. 79

発行日

57.1.11

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

## 視聴覚教材の活用

— 理科・社会の授業実践から —

岡崎市立大樹寺小学校現職教育部

本年度当初、取り組んだことは、市のカリキュラムと視聴覚教材との関連表作成である。これによつて、テレビを初め、本校にある視聴覚教材の効果的な配列、関係付けができて、利用体制が整えられた。

一、二学期を通じて、野口裕太郎先生を講師にして、授業研究を積み重ねてきた。その成果を一部紹介したい。

### ( 社会科の授業実践 )

テレビを視聴することにより、児童が抱いた興味、関心を大切にして、見学、調査活動を展開する。それにより、いろいろな



社会現象を比較したり、見つけ考えることで、社会認識をつなげたり、広げたりすることができるといふ考えの基に実践をした。また、テレビ視聴そのものが社会認識に役立つのではないかということも確かめつつある。三学期は、受容した情報をどのように同化したり、批判したりするか。それと、学級の中でどのように共通課題とするかに研究の方向を求めている。

### ( 理科の授業実践 )

テレビ視聴をすることが、自然の法則を解明する手掛りとなるようにして、実験や観察とする。実物が確かめる理科の本来的な姿勢を大切にしながら、テレビ視聴の効果(学習意欲の向上)と能力の良好な理解等)との相乗効果で学習を深めている。理科学習では結論ではなくて、その追求の方法を見つけていくことが大切である。だから、いつも、問題解決学習的に自然現象を追求していくテレビの手法は、発展的に、問題を解決していく子を育てつつある。と言え、その芽生えが少しではあるが認められてきている。

さて、テレビを中心とした情報による授業のあり方を追求して授業実践してきた段階から、今学期は、他の視聴覚教材(TP、スライド、写真等)を利用した教室授業へのつながりをどうするかに重点を置いて、教師の役割、児童の活動のさせ方、発言の仕方、教室環境等に、研究、工夫を進めていきたい。

よりよいTPシートをめざして

六ツ美南部小学校

高木理恵

新任として就職以来、数々の授業研究の機会に恵まれてきました。教材研究をするかたわら、よりよいTPづくりにも心掛け、努力してきました。

道徳の授業では、資料をより自立的にとらえさせようと、カラーシートをかんたん使ったシートを作りました。今夏の新任研で教えていただいた技術を精一杯生かした絵画的なものです。他の先生方から、たいへん好評を得、TPシートを何クラスか利用していただきました。

また、ワレヨンの削り絵を指導する図工では、削った時の色の効果、線の効果をとらえさせるために、下にカラーシートをはり上には、絵の具をぬり、それを削るというシートを作り指導しました。このアイデアは、同学年の先生のヒントから生まれたものです。

このように、互いに、アイデア、作品の交換等、自分一人の力でなく、仲間と楽しく作り出すTP作りしを心掛けています。

新任としては通まれた先輩に囲まれてがんばっています。

## ライブラリーだより

自作  
TP作品  
五名が特選に

市のTP作品に入賞した四十点を、県教育サービスセンターの方へ再応募したところ、特選五、入選十三、佳作十三、計三十一点が入賞した。特選の先生は次の通り。

太田 新史 (大樹寺小) 竹内 順子 (細川小)  
平岩 昭 (岩津中) 杉山 隆之 (常盤中)  
富安 辰夫 (美川中)

### 16ミリフィルムの巡回が始まる

本年度、教材費によって購入したフィルムを、一月十一日より巡回します。フィルムの運搬については、最初の学校へはライブラリーより届けますが、以後、計画表に基づいて使用した学校が次の学校へと巡回をお願いします。有効な活用を期待します。

なお、フィルムは傷つきやすいので、取扱いは十分注意して下さい。上映報告書の記入もお忘れなく。

### 県自作AV教材コンクールに八点応募

今年度は学校教育部六点(スライド一、ビデオ五)、社会教育部二点(8ミリ一、ビデオ一)の応募があった。